

- 日本政策金融公庫の林業・水産業経営アドバイザー制度（平成20年度創設）は、林業・水産業経営の維持、発展、事業再生支援等を行うために必要な各種分野における知識、ノウハウ等を有する者を育成し、林業・水産業経営に対する支援機能を維持、拡充強化することが目的。
- これまで林業経営アドバイザー157名、水産業経営アドバイザー96名の合格者が誕生。税理士や金融機関といったそれぞれの立場で林業・水産業経営を支援。

## 受験者・合格者の推移及び内訳

### 【受験対象者】

公庫本支店と連携して林業・水産業経営者に対するご支援を行う方（税理士、公認会計士、中小企業診断士、金融機関職員、その他関係機関・団体職員等）。

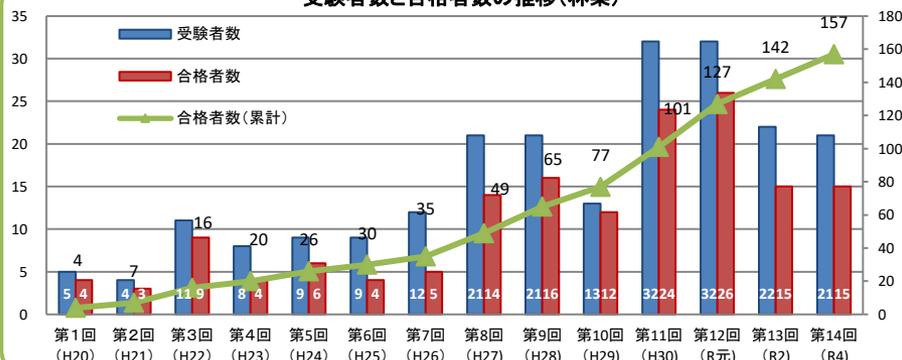
研修試験内容	林業経営アドバイザー	水産業経営アドバイザー
研修日数	3日間（最終日は筆記試験）	4日間（最終日は筆記試験）
試験	筆記試験＋面接試験	
研修科目	①林業政策 ②税務基礎 ③経営診断 ④マーケティング ⑤事業再生	①水産政策 ②海外事情・政策 ③リーダシップ論 ④経営診断 ⑤マーケティング ⑥事業再生

### （業種別合格者数）

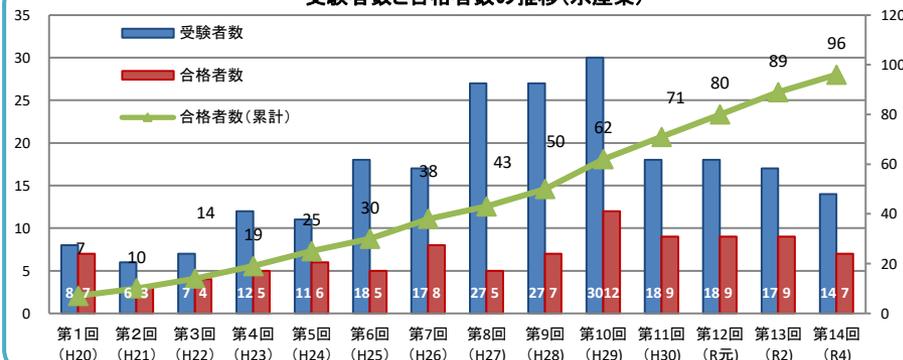
	公庫	税理士	中小企業診断士	金融機関職員	公認会計士	その他	合計
林業	64	13	17	39	7	17	157
水産業	27	3	17	33	3	13	96

【合格者の推移】※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大により、研修・試験の実施を中止

### 受験者数と合格者数の推移（林業）



### 受験者数と合格者数の推移（水産業）



## アドバイザー・ミーティング

○ 林業・水産業経営アドバイザーのスキルアップのための研修として、毎年1回アドバイザー・ミーティングを実施

- ・ 林業・水産業における先進事例の現場視察
- ・ 林業・水産業アドバイザー講師による講演
- ・ アドバイザー資格保有者による活動事例報告
- ・ アドバイザー資格保有者同士の意見交換 など

## アドバイザーによる活動事例

- 林業・水産業経営者からの相談対応
- 林業・水産事業者向けの融資商品の企画
- 経営診断の実施や各種事業計画の作成支援
- 税務相談会等の実施 など